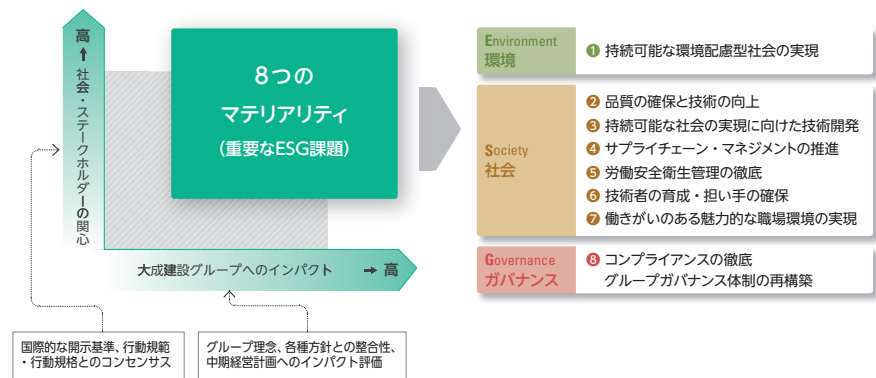


大成建設グループのマテリアリティ

大成建設グループは、社会およびステークホルダーの関心や社会課題を認識するとともに、当社グループの経営への影響（インパクト）を踏まえ、マテリアリティの継続的な見直しを実施しており、2020年度にもマテリアリティの一部を変更しました。



マテリアリティの特定プロセス

Step 1	サステナビリティ課題の抽出 SDGs、GRI、国連グローバル・コンパクト、ISO26000、SASB、ESG 社外評価項目及び当社グループの中長期的な経営戦略等から重視すべきサステナビリティ課題を抽出
Step 2	社内外にヒアリング 社内外にヒアリングし、意見を踏まえて、経営企画部門とサステナビリティ部門共同で素案を作成
Step 3	社内での議論 素案をもとに、中長期的な経営戦略及び中期経営計画の策定とともに、経営会議・CSR委員会（現サステナビリティ委員会）で事前審議の上、取締役会で審議して決定
Step 4	社内への展開 中期経営計画において、マテリアリティに結びつけた重点施策を設定の上、KPI・アクションプランを策定。 定期的にサステナビリティ経営推進本部がKPIの進捗状況を取りまとめの上、サステナビリティ委員会に報告。 PDCAサイクルを回すことにより、継続的な改善を実施

マテリアリティによるインパクトと関連するSDGs



① 持続可能な環境配慮型社会の実現

リスク

- 環境対策費用及び資源不足等
- 自然災害の基大化・頻発化
- 取り組み不足に起因する外部評価低下・受注機会減少

機会

- 省エネ・再エネ関連及びリニューアブル需要増加
- 環境関連技術を活かした受注機会増加
- 環境課題解決貢献による外部評価向上・企業価値向上

6 7 8 9 11 12 13 14 15 17

② 品質の確保と技術の向上

リスク

- 品質不良等発生による事業中断等及びその対応に伴うコスト増・生産性低下
- 外部評価低下・受注機会減少

機会

- 施工能力向上による競争優位性確保・受注機会増加
- 外部評価低下・企業価値向上

8 9 11 13 17

③ 持続可能な社会の実現に向けた技術開発

リスク

- 顧客ニーズへの対応が不十分となることによる受注機会減少
- 外部評価低下・受注機会減少

機会

- 新たな技術開発による競争優位性確保と受注機会増加
- 外部評価向上・受注機会増加

7 9 11 13 17

④ サプライチェーン・マネジメントの推進

リスク

- サプライチェーンにおける環境破壊、人権侵害等の発生
- 外部評価低下・受注機会減少

機会

- 取引先との共存共栄の実現競争力の向上
- 外部評価向上・企業価値向上

4 8 9 11 12 13

⑤ 労働安全衛生管理の徹底

リスク

- 労働災害や法令違反事例の発生、生産性の低下
- 外部評価低下・受注機会減少

機会

- 安全な職場環境実現による生産性・競争力の向上
- 優秀な人材及び優良な取引先の確保

3 8 9 11 12 13 15 17

⑥ 技術者の育成・担い手の確保

リスク

- 生産能力の低下
- 外部評価低下・受注機会減少

機会

- 優秀な人材及び優良な取引先の確保
- 生産性及び競争力の向上

4 8 9 11 12 13

⑦ 働きがいのある魅力的な職場環境の実現

リスク

- 人材不足及び多様性欠如による企業価値向上のための取り組み停滞
- 外部評価低下・採用機会損失

機会

- 従業員のエンゲージメント向上による組織の活性化、生産性向上
- 優秀な人材の確保

4 5 8 9 10 16 17

⑧ コンプライアンスの徹底・グループガバナンス体制の再構築

リスク

- 社会的信用の失墜及び企業価値毀損
- 外部評価低下・採用機会損失

機会

- 迅速な意思決定と適切なリスクテイク及びシナジー最大化によるグループ力の向上

8 9 10 12 16 17